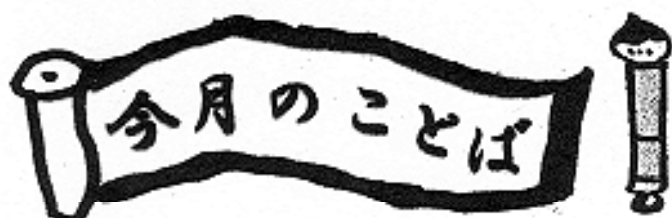


よえもん

2015年5月

第 25 号



シリーズ
よえもん

うまがたねがえもん
馬方又左衛門



馬方（故人や荷物を馬に乗せて、目的地まで送るという仕事）の又左衛門という人がいました。ある日、仕事をすませて馬を洗っていたら、財布が出てきました。中を見ると、二百両の大金が入っています。又左衛門は、おどろいて「さきほどの加賀のひきやくさんが忘れたのにちがいない!」と、すぐに疲れた足で、30キロもはなれた宿へと届けに行きました。とても心配していたひきやくは、なみだを流してよこびました。

「この二百両をなくしたら、重い罪になるころでした。ほんとうにありがとうございました。お礼として15両をうけとってください。」しかし、又左衛門は、

「あなたのお金をあなたが受け取るのに、何でお礼がいらしやう。」と、受け取りません。ようやく二百両を受け取ったばかりでした。ひきやくが、なぜそのようなよい行いができるのかをたずねると、又左衛門は、

「小川村によえもんさんという方がおられて、毎晩、村の若たちのためになるお話を聞かせてくださいます。それで、お金を届けにきたのです。」と答えて、にこり笑って帰っていきました。



天地も心の中に
心の外に
何が見るべき
そなはれば

書・洲田瑞穂さん
出典・中江藤樹の和歌

「人間は心の中に天地（小宇宙）がそなわっているが、自分の思いどおりにならない時には、世界を広げて何かを見い出そうと努力することが大事である。」という藤樹先生の和歌です。

新年度になり、新しい学校や生活環境になり、自分の思っていたことと違うこともあるかもしれませんが、周りの人や自然と調和しながら、いろいろなことを吸収してみてください。

記念館だより ~ありがとう ございます~

！安曇小学校三年生のみなさん立志祭新聞
！ありがとうございました。どのグループもよく
！調べてあって、とてもわかりやすかったです。

日頃、中江藤樹記念館は、藤樹会さま、藤樹書院・良知館さまから、当館のご案内及び広報活動等、様々な面よりご支援頂いております。また、洲田瑞穂さんには「藤樹先生のことば」の墨書を、中江道夫さんには、プランター植えの季節の草花の貸与、中江彰さんには、記念館周辺のお掃除をして頂いております。皆様方のきめ細やかなお心遣いに職員一同感謝しております。



近江聖人中江藤樹記念館

高島市安曇川町上小川69 TEL-FAX (0740)-32-0330